

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

法然寺・細井俊明上人がなくなられたことから

法然寺の細井俊明上人が3月5日に亡くなられました。私と同年輩、昭和9年生まれでした。俊明上人と私が知り合ったのは昭和30年代の終わり頃であつたと思います。同年輩のことですので法然寺の行事や仏教関係の行事等でお会いするごとに、よくお声をかけて下さいました。その言葉の中で、「毎年修理しなければならない」また、「台風が来るたびに修理だ」と言われた。また、「車が門に突き当たり倒れた」と、それらの修理、改築事業、また、広い境内整備等、また、福祉事業を計画され積極的に不満も言わず推し進められた発想力、行動力には驚くものがありました。

松くい虫で松の木が枯れた頃、法然寺様の松も多く枯れました。その松の利用できるものは法然寺の修理に利用されています。

これらの功績を眼にすることに俊明上人の懸命に生き抜かれた姿を思い出させてくれます。

これらの俊明上人の功績を見るたびに「お前たちも懸命に生きろよ」と言ってくれていると思ひ励みにしていきたいと思つています。

合唱

十川東町 称念寺 泉 達雄



「事例発表について」



ケアワーカー 鎌野 裕里奈



竜雲舜虹苑では、年度末に事例発表会を開催し、1年間取り組んできた事を事業所毎に発表しています。

私の所属するショートステイも、様々な取り組みを行った中で、職員で話し合い、リハビリやレクリエーションについてまとめる事にしました。

ショートステイの利用者様は短期間舜虹苑で過ごされ、自宅に帰られるので、自宅での生活が継続できるように支援していく必要があります。そのためには、どのようなリハビリをすれば良いのか、どのようにレクリエーションをすれば利用者様が楽しくできるのかを考え、1年間取り組みを来しました。その取り組みを8分間でまとめるのは難しかったのですが、写真等も使いパワーポイントを作成しました。職員で取り組んできた事を私が発表するのは緊張しましたが、「大丈夫だよ」と声をかけてもらい、落ち着いて発表することが出来ました。

今回の事例発表を通して他の部署の取り組みを聞き、参考に出来る取り組みがあったので実践していきたいと思えます。また、来年度も「利用者様が快適に安心してご利用頂けるようお手伝いをする」をショートステイの基本理念とし、その方にあった支援をしていきたいと思えます。



利用者様を偲んで

介護主任 氏家 宏子

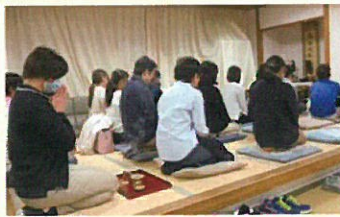


3月10日今年度ご逝去された方々の御冥福をお祈りするため、法然寺の細井俊道上人をお招きし物故者法要が行われました。

物故者法要は、舜虹苑の各事業所で御縁のあった利用者様を対象に行われます。手を合わせると御逝去された利用者様との思い出が蘇り、色々な感情があふれ出てきます。お経を聴きながら自分の気持ちを整理し、

只々、御縁があったことに感謝させて頂きました。今年度も特養では数名の利用者様の看取りを行い、御家族様と共に利用者様の最期に立ち会わせて頂きました。看取り期に入ると御家族も再々、足を運んで下さり、利用者様に付き添って下さいました。看取りケアは職員にとっても、心に負担を伴います。御家族様が付き添って下さり、お元気な頃の利用者様の話を御家族と一緒に進行することで、私達職員も死を迎える心の準備が出来ているように思います。

利用者様の生きてきた人生に敬意を持って向き合い、御家族様と協力しながらこれからも支援していきたいと思えます。



社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
訪問介護サービス
老人介護支援センター
ケアハウス

〒761-8078
高松市仏生山町甲 3100 番地 2
TEL: 087-888-5800
FAX: 087-889-1004



梅見物

冬の寒さも緩み、春を感じ始めた2月末日にケアハウス利用者様と一緒に綾歌の滝宮天満宮まで梅見物に行ってきました。

県内では梅の名所として知られる境内ですが、まだ少し時期が早かったこともあり7分咲き程度でした。しかし、



利用者様からは紅白の花が綺麗に咲いていると好評いただき、ご自分のカメラで花を撮られている方もいらっしゃいました。

竜雲学園名誉理事長細井俊明儀3月5日永眠致しました。(享年84)ここに生前のご厚誼に深謝申し上げます。ご通知申し上げます。